

## 第57回長崎大学学長選考会議議事要旨

1 日 時 令和2年7月6日(月) 13:30～15:50

2 場 所 長崎大学事務局第1会議室

### 3 議 事

#### (1) 学長候補者の選考について

議長の求めにより、事務局から、資料3-1～3-3に基づき、候補者面接の流れ等について説明があった。

続いて、河野 茂候補者の面接を実施した。

(主な質疑は以下のとおり)

- ・ 長崎大学を良くするための目標や課題について教示願いたい。
- ・ プラネタリーヘルスにおける情報データ科学部と医学部との連携に関連する遠隔診療について、遠隔診療だけではできない診療があると思うが、うまくできそうか。
- ・ 次期学長となった場合に力を入れたい部分について教示願いたい。
- ・ 産業界としては、研究開発力を持った人材のみならず、英語力や応用力のある人材育成も必要と思うので、人材育成についても力を入れていただきたい。
- ・ 学長に求められるガバナンスについて教示願いたい。
- ・ 他大学の工学部において、学科ごとに壁があり全然交流しない。その事が、研究開発の壁及び人材交流の壁ともなっており、一つの課題だと思われる。

続いて、清水 康博候補者の面接を実施した。

(主な質疑は以下のとおり)

- ・ 所信等説明動画において「精神的及び時間的にゆとりを持って」との表現があるが、そのためには何が必要で何が問題であるのか教示願いたい。
- ・ 副専攻プログラムを実質的に成り立たせるために何が必要か教示願いたい。
- ・ 次期学長となった場合に進学希望高校生にアピールするための「今後改善する点」や「新たな魅力」を教示願いたい。
- ・ 個人の意見だが、本学には間接部門であるセンターや支援のための組織が多すぎるとの印象を持っている。このことについて、見解を教示願いたい。
- ・ 教員の意識改革や教育の質の向上の方策を教示願いたい。
- ・ 教員一人あたりの担当学生数及び教員一人あたりの自己収入について、部局間でアンバランスが生じていると思うが、このことに関する見解を教示願いたい。
- ・ 今後、研究力を向上して外部資金を獲得するための方策を教示願いたい。
- ・ 大学への予算配分が削減されている状況において、教員数を確保する方策を教示願いたい。
- ・ どの大学においても工学部では、学科の壁があると言われているが、その壁を崩す方策を教示願いたい。

両候補者との面接終了後、議長から、学長候補者として相応しいと考える者の選出及びその事由について、各委員に対し意見を求めたところ、出席したすべての委員から河野 茂候補者が学

長候補者として相応しい旨の意見が示されたことから、当会議として河野 茂候補者を学長候補者とすることが承認された。なお各委員から示された選考理由は概ね以下のとおり。

- ・ 「求めるべき学長像」に合致していること。
- ・ 長崎大学の将来像や今後の改革の方向性などの点において、より具体的で明確なビジョンが示されていること。
- ・ 現学長として現在の任期（平成 29 年 10 月～令和 2 年 9 月）で築いてきた実績及び次期学長として引き継ぐ場合の 3 年間で任せることで、長崎大学の更なる発展が期待できること。

続いて、両候補者それぞれを再び召集し、議長から、選考結果及び選考理由を伝達した。

続いて、議長から、資料 7 に基づき、長崎大学学長候補者選考規則第 1 2 条第 3 項の規定に基づく学内外への公表内容について説明があり、審議の結果、各委員から示された選考理由を総括したものすること及び字句の整備については、議長に一任することが了承された。

## (2) 今回の選考手続きの課題等について

議長の求めにより、事務局から、資料 8 に基づき、学長選考手続きの流れについて説明があり、続いて、今回の学長選考手続きに係る課題等について意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

- ・ 学内構成員への「第 2 次学長候補適任者に対する意見の募集」に対して、投稿意見が 1 件だったことについて、学内構成員の関心があまりなかったと思うとともに、心配に思う。
- ・ 投稿意見が 1 件だった要因の一つとして、今回は現学長が継続するか否かという側面があった可能性がある。学長交代がある次回の学長選考時は、学内構成員の反応は変わるのではと思う。

(以上)